山口情報芸術センター［YCAM］展覧会

新作インスタレーション展
「バニシング・メッシュ」

2017年2月18日（土）～5月14日（日）　10:00～19:00　入場無料
※地下スペースは土日祝のみ公開、3/23～3/30スタジオA作品のみメンテナンスのため閉鎖

山口情報芸術センター［YCAM］スタジオA、スタジオB、ホワイエ、地下スペース

情報化社会の現在へ批評的な展望―2組のアーティストがメディアアートの今を刷新！

山口情報芸術センター［YCAM］は、2組のアーティストによる新作インスタレーション展「Vanishing Mesh（バニシング・メッシュ）」を開催中です。
バニシング・メッシュとは、技術革新によって見えなくなっていくさまざまな境界線や囲いを暗示しています。本展覧会は、スマートフォンなどが日常化し、どこでもネットワークに接続できる情報化社会において、テクノロジーを導入した芸術表現の刷新により、現在の情報環境を批評していく試みをおこないます。
会場に置かれた日用品にインターネットを介してログイン（憑依）することを可能にし、無機物であるはずの日用品が、意思を持ち行動することで発生する未知の関係性を観察する、菅野創＋やんツーのインスタレーション作品。また、結成15周年目を迎えるサイン・ウェーブ・オーケストラは、これまでの来場者参加型の作品スタイルを維持しつつ、インターネット上の莫大な映像を独自のアルゴリズムで解体／再構成し、本来映像が持っている意味を剥奪させ、サイン波の振幅へと還元したオーディオ・ビジュアル作品を含む3作品を発表。今日の情報化社会によって成立する、新しい参加型作品の在り方を提示します。2組のアーティストによるメディアアートの今を、是非この機会にお楽しみください。

「Vanishing Mesh」メインビジュアル

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ　山口情報芸術センター［YCAM］
TEL：083-901-2222　FAX：083-901-2216　メールアドレス：press@ycam.jp
〒753-0075 山口県山口市中園町7-7　http://www.ycam.jp
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

作品詳細

菅野創＋やんツー

菅野創＋やんツー「Avatars」
撮影：古屋和臣

「Avatars（アバターズ）」

本作は、電話やカラーコーン、石膏像、車、植物など大小さまざまな16のオブジェクトで構成されるインスタレーション作品です。空間に配置される日常的なオブジェクトには、カメラ、マイク、モーター、小型コンピューターなどが組み込まれ、インターネットに接続されており、鑑賞者はウェブブラウザから各オブジェクトにログイン（憑依）して作品を体験することが可能です。自分の身代わりとして存在するアバターは、仮想空間ではなく物理法則が支配する現実空間に存在し、そこには生身の人間（観客）も存在します。IoTに代表されるようにあらゆる物がネットワーク化され、人工知能が成熟しようとしている現在、自律性を持たない無機物である物たちが、意思を持った者となり世界を知覚し動き出した時、そこに立ち上がってくる新たな関係性を観察する作品です。

「Avatars」はインターネットから体験が可能です。
avatars.ycam.jp

作品詳細

サイン・ウェーブ・オーケストラ

サイン・ウェーブ・オーケストラ「A Wave」
撮影：古屋和臣

「A Wave」

会場に設置された巨大なスクリーンには、物理的にフィルタリングされた不鮮明な映像が投影され、また空間全体にも不明瞭な音響が充満している。この映像と音響は、いずれもインターネット上にアップロードされた膨大な量の動画を、独自のアルゴリズムでリアルタイムに解体／再構成しているものである。双方の素材となる断片化された動画を解析し、その輝度、音声データの振幅（音量）の数値にもとづいて、それぞれがサイン・カーブを描くように、1フレームごとに並べ直すことで構成している。これにより、素材となる動画が持っていたはずの意味が剥奪され、サイン・ウェーブを構築するための抽象的な光と音へと還元される。全ての音は複数のサイン波を組み合わせることで表現可能である。しかし、今作では、多くの素材を切り刻み、つなぎ合わせることでひとつのサイン波をつくり出す。

作品詳細

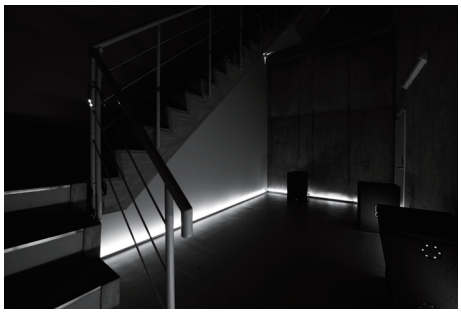
「The SINE WAVE ORCHESTRA stay」

会場には、49対のスパイラル状に加工された銅のワイヤーが設置されている。訪れた人は、まず会場でサイン波を鳴らすデバイスを手に取る。そして、任意のワイヤーにそれを取り付け、周波数を決める。取り付けられたデバイスからは会期を通じてサイン波が鳴り続ける。公開スタート時には無音の状態で始まる展示は、人が訪れさまざまな場所への設置が増えるごとに音の複雑さも増していき、聴取する場所によってもその様相を大きく変化させていく。この作品は、その姿が絶え間なく変化していく、コレクティブなパフォーマンスである。

サイン・ウェーブ・オーケストラ「The SINE WAVE ORCHESTRA stay」
撮影：古屋和臣

「The SINE WAVE ORCHESTRA in the depths」

コンクリートで囲まれた特殊な空間と、そこに設置された4台のスピーカーから発せられるサイン波で構成されるサウンド・インスタレーション。事前に、作品空間内に30cm間隔でグリッドを設け、各ポイントで周波数特性を計測する。その結果に基づき、空間的な「偏り」が特徴的な周波数を選び、組み合わせることで、その空間特有の音響を導き出す。発せられる音自体は変化をさせていないにも関わらず、サイン波はある場所では強め合い、またある場所では打ち消しあい、聴取する場所によってダイナミックに音が変化する。鑑賞者は、見えない4重のレイヤーとも言える、4本のサイン波によってつくり上げられた音響空間を歩き回り、探索することで、それぞれが個別のナラティブを見出すとともに、人の聴覚特性、サイン波の相互作用、そして空間の固有性を体験する。



サイン・ウェーブ・オーケストラ
「The SINE WAVE ORCHESTRA in the depths」
撮影：古屋和臣

YCAM委嘱作品について

YCAMでは、さまざまなタイプのアーティストとともに「委嘱作品」として新作を公開しています。作品のテーマや課題から構想を立ち上げ、YCAMの空間の特徴や機材などの環境を踏まえ、未知の体験や考察を促す作品をこれまでに生み出してきました。制作の過程ではYCAM InterLabとの共同研究やYCAMでの滞在制作をおこない、蓄積された知識や技術は「コロガル公園シリーズ」をはじめとした教育プログラムでの応用や、オープンソースでの公開など、YCAMのさまざまな活動に循環していきます。

YCAM InterLab（ワイカム・インターラボ）

YCAM InterLabは、YCAMの内部に設置された研究開発チームです。キュレーター、エデュケーター、エンジニア、デザイナーなど、多彩なスキルを持つ20名ほどの常駐スタッフにより構成され、市民やアーティスト、研究者、外部のエンジニアたちとともに、コンセプトづくりから作品制作、ワークショップの開発まで、YCAMのさまざまな事業を主導しています。

プロフィール

菅野創＋やんツー

Photo by Gottingham

2011年から菅野創＋やんツーとして共同制作を開始。第15回文化庁メディア芸術祭アート部門にて二重振り子の動きを利用し作画するドローイングマシン《SENSELESS DRAWING BOT》が新人賞を受賞。
主な展覧会として第15回文化庁メディア芸術祭(2012)、メディアシティソウル（ソウル市美術館/ 2012)、札幌国際芸術祭（2014)、ICC Open Space（2015)、あいちトリエンナーレ（2016）など。

菅野創（かんの・そう）
1984年生まれ。情報科学芸術大学院大学（IAMAS）メディア表現研究科メディア表現専攻修了。テクノロジーを駆使しながら、シグナルとノイズの関係やエラーやグリッチといったテクノロジー特有の事象にフォーカスする。自分が見てみたいもの、観察したいものを実現するために作品を制作している。

やんツー
1984年、神奈川県生まれ。多摩美術大学大学院デザイン専攻情報デザイン研究領域修了。デジタルメディアを基盤に、グラフィティやストリートアートなど公共圏での表現にインスパイアされた作品を多く制作。

サイン・ウェーブ・オーケストラ

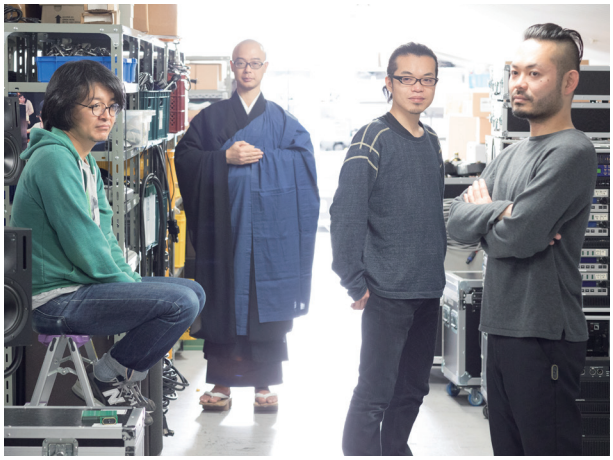


Photo by Gottingham

サイン・ウェーブ・オーケストラは、2002年に4人のコアメンバー、古舘 健、城 一裕、石田大祐、野口瑞希によって始められたプロジェクト。音の最も基本的な要素といわれるサイン波、を参加者一人一人がそれぞれ一つだけ使うことができるというルールのもと、サイン波による集合的な音表現としてパフォーマンス、展示を展開。
主な展覧会としてNTTインターコミュニケーションセンター（2004, 2005)、横浜トリエンナーレ（2005)、MART（イタリア/ 2006)、LNMM（ラトビア/ 2006)、Edith Russ Haus（ドイツ/ 2010)、東京都現代美術館(2013)、恵比寿映像祭（2015）など。

開催概要

バニシング・メッシュ

2017年2月18日（土）～5月14日（日）
10:00～19:00
火曜休館（祝日の場合は翌日）　入場無料
山口情報芸術センター［YCAM］スタジオA、スタジオB、ホワイエ、地下スペース
※地下スペースは土日祝のみ公開
※3/23（木）～3/30（木）スタジオA作品のみメンテナンスのため閉鎖

地下スペース作品の公開について

地下展示会場へはナビゲーターによる、ツアーのみのご案内となります。参加をご希望の方は、当日チケットインフォメーションで整理券をお受け取りください。

公開日：会期中の土日祝日
定員：各回5人まで／所要時間：約10分
ツアー開始時間：11:00/11:30/12:00/12:30/13:00/13:30/14:00/14:30/15:00/15:30/16:00/16:30

注意事項
・未就学児入場不可
・小学生は保護者同伴
・鑑賞時、急な階段の昇降があります
・重低音を使用しておりますので、心臓の弱い方やペースメーカーをご使用の方などは参加をご遠慮ください

関連イベント：ギャラリーツアー

ファシリテーターとともに作品を体験しながら、鑑賞のポイントを発見し、参加者同士でディスカッションをおこないます。

日時：3月18日（土）、4月1日（土）、15日（土）、29日（土）、5月13日（土）
各日14：00～15：00

集合場所：山口情報芸術センター［YCAM］ホワイエ

料金：無料（申し込み不要）

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団
後援：山口市教育委員会
平成28年度文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業
助成：公益財団法人 花王 芸術・科学財団
機材協力：フォステクスカンパニー
共同開発：YCAM InterLab
企画制作：山口情報芸術センター［YCAM］